

国道 495 号は、途中で県道 300 号と共用区間になり、ほどなく道の駅「むなかた」に到着。ここで、私の「日本本土最尖端 16 峠」制覇を見届けようと、広島から駆けつけてくれるバイク仲間の Y 氏と合流予定。

この道の駅は、開店前から老若男女大勢の人が長々と並んでいる。開店してから入ってみると、産直生鮮品が安い。みんな特に魚介類を山ほど買っていく。軒下の燕の巣は、NPO 法人「バードリサーチ」が架けた物であった。

すぐに宗像大社を見学していた Y 氏が到着合流。一緒にスムージーを飲んでから出発。



写真 728. 道の駅「むなかた」



写真 729. 開店前の長蛇の列



写真 730. 開店と同時に大勢のお客



写真 731. NPO 法人が架けた燕の巣



写真 732. Y 氏合流、ようこそ！



写真 733. ヘルシーなスムージー

国道 495 号、県道 300 号等を使って、海岸線をトレースした。走行距離 20 万キロを超えた Y 氏の愛車ステルビオも健在のようである。海岸線を走りながら、マイナーな国家事業情宣施設の「白島展示館」に寄る。ここの展望塔から沖合の白島国家石油備蓄基地を観ることが出来る。国の石油備蓄政策の重要性などを伝える立派な施設だ。今回 5 日目に志布志の国家石油備蓄基地、6 日目に ENEOS 喜入石油備蓄基地そして、11 日目に福島国家石油ガス備蓄基地も見た。なぜ、九州には備蓄基地が多いのだろうか？



写真 734. 玄界灘も美しい



写真 735. ステルビオ号も快走



写真 736. 第 2 響灘大橋の回りの風車



写真 737. 白島展示館



写真 738. 展望塔から響灘を望む



写真 739. 愛車達も炎天下耐えている



写真 740. 遠くに白島国家石油備蓄基地



写真 741. 風車が多い地区です

「白島展示館」を後にして、すぐ近くの「軍艦防波堤」を見にい。防波堤の脇にバイクを停めたら、後ろに若戸大橋が見えた。私が幼少期福岡に帰省する時、母が車窓越しに「あれが若戸大橋だよ」と教えてくれたのを覚えている。福岡のランドマークになっていて、赤い大きな橋を見ると母もやっと郷里に帰ってきたなと実感したのではないだろうか。



写真 742. 「軍艦防波堤」の有る埠頭



写真 743. 若戸大橋が見える



写真 744. 防波堤になった駆逐艦「柳」



写真 745. 「軍艦防波堤」の解説

まると軍艦を沈めて防波堤にしてしまう考えがユニーク。港湾地域には、最近あまり見ない石炭の山があり、懐かしかった。



写真 746. かつては公害で死の海だった洞海湾も今はきれいで釣り人で賑わっている
洞海湾を渡るのに今回は若戸大橋を渡らず 2012 年に開通した自動車専用の若戸トンネルをぐって渡ることにした。トンネルを出ると横に若戸大橋が並行して走っていた。



写真 747. 最近見なくなった石炭の山
写真 748. トンネルを出たら若戸大橋
橋から来る道とトンネルから来る道が入り乱れているが、国道 199 号を門司方面に進む。小倉駅を過ぎて、門司赤煉瓦プレイスで写真を撮って、国道 3 号で門司に向かう。今日も 35℃まで上がっている。



写真 749. 自動車道と一般道が入り乱れている
写真 750. 今日 35℃まで上がっています
この後、交差点で信号が青になった瞬間に対向の黒ワゴン車が無理矢理右折、信号先頭にいた私は、加速した瞬間に急ブレーキ。ぶつかると諦めた時にギリギリですれ違うことができた。右直事故寸前。完走前に油断大敵である。



写真 751. 門司赤煉瓦プレイス



写真 752. 和布刈神社の鳥居の上に関門橋

いよいよ九州最北端の地に行く。ただ、一般に行ける最北端は、太刀浦コンテナターミナルが有る埋め立て地（こちらは午後に訪問）だが、北九州市が今年設置予定の九州最北端の地の記念碑は、ここ関門橋の下の和布刈神社付近となっている。記念碑が建っている事を期待してきたがやはりお役所仕事は遅い。出来ていなかった。

よって、その両地点を訪問して「九州最北端」到達として、結果「日本本土最突端 16 岬」と呼ばれる物を達成することができた。



写真 753. 和布刈神社の鳥居の上に関門橋



写真 754. 補修工事中



写真 755. 和布刈神社の夫婦地蔵？

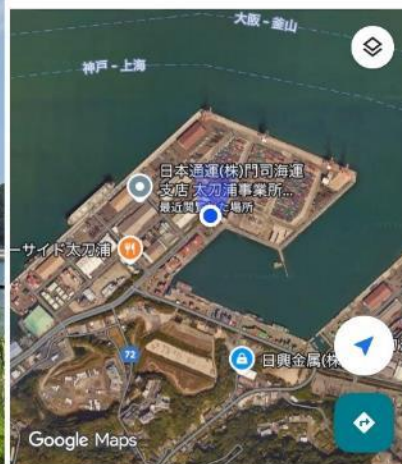


写真 756. 関門橋は美しい橋

祝「日本本土最突端16岬到達」



九州最北端の記念碑
設置予定地



地図上で行ける
九州最北端

写真 757. 「日本本土最突端 16 岬」走破しました



写真 758. 走破の証人となってくれたステルビオ号と記念撮影

祝い飯を食べに関門トンネル（110 円）をくぐって下関に向かう。これも 43 年ぶりに通るが、なかなかレトロ感のあるトンネルだ。終盤、反対車線が大渋滞している。この換気の悪くて暑いトンネルでは、バイクには耐え難い環境だ。帰りは別ルートにするのが無難そうだ。

まずは、目星を付けていた「おかもと鮮魚店」にいった。バイクはお店の脇に停めさせて貰った。幸運にも並ばずには入れた。ここはリーズナブルで美味しいと評判のお店。16 最突端走破記念は刺身定食とした。ごった返したお魚屋さんの横で飯屋をやっているが、お刺身は鮮度も良く美味しかった。Y さんがサイドで頼んだ鯨の竜田揚げも分けていただいたが美味しかった。良い祝い飯になった。このお店、お勧めだね。



写真 759. レトロな関門トンネルの入り口



写真 760. トンネル内は道幅が狭い



写真 761. トンネル脱出



写真 762. 岡本鮮魚店



写真 763. お刺身定食



写真 764. 鯨の竜田揚げ

食後はせっかく下関に来たので彦島の最南端まで行ってみた。市内のコリアンタウンの何故か歩道橋の上にある「釜山門」をぐり、県道 250 号で南下して彦島に渡った。島内は県道 252 号や 251 号を走り、後は道がよく分からず徘徊した。最終的には塩浜までたどり着き、対岸の門司や小倉の景色を見て、戻ってきた。道路で繋がった本州の最果てを味わったわけである。



写真 765. 歩道橋の上の「釜山門」



写真 766. 彦島の塩浜



写真 767. 対岸は小倉の工場地帯



写真 768. 本州の最果て感満喫



写真 769. 下関の車両基地



写真 770. 下関は意外に大都会

下関は意外に大きな町で驚いた。最近寂れた地方都市をよく見かけるが、一見下関は活気があるように見えた。現実はどうなんだろうか。国道 9 号を走り、一応有名なので「唐戸市場」に寄ってみる。もう午後なのでほとんどの店は閉まっていた。二階のテラスからは椰子の木が並ぶ関門海峡を見渡せる。ここでも、ジュース飲んでクールダウン。

次ページ (13_2) https://kurotora2.michikusa.jp/event/2025_Kyushu/2025_kyushu_13_2.pdf